

災害から身を守るために

1 避難のレベル

～水害土砂災害対策～



大雨警戒レベル

レベル4までに必ず避難

警戒レベル	取るべき行動	避難情報	警戒レベル相当情報
5	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保	大雨特別警報等
4	危険な場所から 全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報等
3	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	大雨・洪水警報等
2	避難行動の確認		大雨・洪水注意報等
1	心構えを高める		早期注意情報

2 事前に把握しておくこと



- 自宅の浸水、土砂災害の危険性があるかを確認する。
- 安全な場所（避難所、親族・知人宅）を確認する。
- 安全な避難ルートを確認する。
- 防災情報収集手段（TV・ラジオ等）を確認する。

大雨や地震の情報が分かる！
防災アプリ「ふくおか防災ナビ・
まもるくん」福岡県から配信
中！

App Store
(iPhone)

Google Play
(Android)



3 被害に遭わないために

■ 普段の心掛け

※スマートフォンカメラ機能からインストール

1 天気予報や気象状況に気をつける

梅雨時期や台風シーズンなど、災害が起こりやすい時期には、テレビ・ラジオ・新聞の天気予報に注意しましょう。

2 非常食や持ち出す物などを準備しておく

非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使用しないもの（レトルト食品・缶詰等）を選びましょう。

飲料水も忘れずに確保し、懐中電灯や携帯ラジオ、乾電池も忘れずに用意しましょう。

3 避難場所や避難経路を確認しておく

地区ごと、災害発生時に避難する場所（学校、集会所等）が定められています。

最寄りの避難場所が、どこにあるのか、また安全なルートを普段から確認しておきましょう。

■ 警報発表時の心構え

1 高齢者等避難・避難指示などには速やかに従う

川の水は短時間のうちに一気に増水し、危険な状態になったりします。

避難指示等が既に発表されている場合は、危険な状態が迫っている恐れがあるため、速やかに避難しましょう。また、避難指示等が発表されていない場合でも、危険を感じた際には、自主的に避難することも検討しましょう

万一、冠水により避難できない場合は、家の中の安全な場所（二階などへの垂直避難）に留まりましょう。

2 避難する時は、みんなと一緒に行動する

単独での避難は非常に危険です。

一人で行動すると、惨事を招きかねません、複数で行動するように心掛けましょう。

3 持ち出す荷物は少なく、身軽に動けることを優先する

荷物を多く持ちすぎていると行動力が鈍り、逃げ遅れる可能性があります。

必要最低限の物だけを持ち出し、機敏に行動できるように心掛けましょう。

4 事前に備えておくもの

避難の際に最低限必要なもの

全員

- 水
- 食料品
- 調理器具
- 清潔品
- 薬・救急用品
- 貴重品・身分証明書など
- 身を守るもの（ヘルメット・笛など）
- その他（救助活動の道具・燃料など）
- 携帯、ラジオ
- 日用品
- 衣類等
- 筆記用具



高齢者



- 薬・薬手帳
- 老眼鏡・補聴器
- 入れ歯洗浄剤などの生活用品

女性

- 生理用品などの清潔品
- 化粧品などの日用品



乳幼児

- ミルクなどの食料
- 調理器具
- 抱っこひもなど
- 紙おむつ・お尻拭きなどの清潔品



自宅や実家の災害危険度を知る

わがまちハザードマップ

検索



【お問い合わせ先】

福岡県警察本部警備課

TEL : 092-641-4141

HP : <http://www.police.pref.fukuoka.jp/index.html>

